

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語表現 I	
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	機械システム工学科		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	New Favorite English Expression I (東書) ・ 同 Taskbased Workbook (東書) ・ ブレイクスルー総合英語 (美誠社) ・ 同ワークブック (美誠社) ・ スタディサプリEnglish 4技能・スタディサプリ						
担当教員	青山 晶子						
到達目標							
ア 与えられた話題について簡潔な英語を用いて話すことができる。 イ 読み手や目的に応じて簡潔な英文を書くことができる。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを簡潔な英語でまとめ、口頭発表することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目2		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を概ね認識している。		英語運用の基礎となる要素、知識、規則（語、連語、慣用表現、文構造、文法事項、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながり、等）を認識していない。	
評価項目3		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけている。		英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢をおおむね身につけていない。	
		ある程度の的確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができる。		ある程度の的確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることが概ねできる。		ある程度の的確さ、流暢さ、即応性を持って、社会性のある話題や自らの専門に関する基礎的な情報や考えなどを理解したり伝えたりすることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	中学校での既習の英文法を整理した上で、「技術コミュニケーション」を支えための基本的な文法を身につける。日本語と英語の構造の違いに着目しながら、意図を正しく伝える簡潔で明確な英文を書いたり、話したりすることができる基礎を身につける。						
授業の進め方・方法	・教室で各自のノートパソコンを使って、コンピュータや音声ファイル、音読練習用パワーポイントファイル、模範音読ファイル、文書ファイルを利用し、授業を進める。（状況によってマルチメディア演習室も使用する） ・授業は、主に、コンピュータを使った小テスト、ワークブック等課題の確認、教科書の説明、話すことと書くことを中心にしたペアワーク・グループワークから成る。 ・4技能をバランス良く伸ばすために、毎週、担当者によって「スタディサプリEnglish」のデیلیーレッスン（レベル3とレベル4）が配信される。期限を守って提出すること。 ・十分に準備したうえで授業に臨み、疑問点はすぐに質問し、早めに復習して知識を定着させる、という学習サイクルを早く身につけましょう。						
注意点	【備考】 ・ 予習と復習を必ず行うこと。 ・ 辞書、参考書、音声CDを積極的に活用すること。 ・ 提出物を期限までに必ず提出すること。 ・ 授業計画は学生の理解度に応じて変更する場合がある。 ・ 長期休業中課題（多読、essay writingなど）は別途指示する。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
必履修							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		自己紹介、授業概要説明、課題回収		
		2週	Bridge Lesson 1		品詞とその働きが区別できる。 文の要素および句と節の区別ができる。 校内ネットワークにログインできる。 タッチタイプのホームポジションを「ガイドなし」で打てる。		
		3週	Bridge Lesson 2		疑問詞を使った質問ができる。		
		4週	Bridge Lesson 3		疑問詞＋名詞の疑問文が書ける。		
		5週	Lesson 1		S＋V / S＋V＋C / S＋V＋Oの要素が区別できる。		
		6週	Lesson 2		S＋V＋O1＋O2 / S＋V＋O＋Cの要素が区別できる。 [		
		7週	Lesson 3		現在形 / 現在進行形を正しく使うことができる。		
		8週	中間試験				

後期	2ndQ	9週	答案返却・解説 Lesson 4	未来を表す表現を正しく使うことができる。
		10週	Lesson 4	未来を表す表現を正しく使うことができる。
		11週	Lesson 5	現在完了形を理解し、正しく使うことができる。
		12週	Lesson 5	現在完了形 / 現在完了進行形を区別して、正しく使うことができる。
		13週	Lesson 6	過去完了形を理解し、正しく使うことができる。
		14週	Lesson 6	過去完了形 / 過去完了進行形を区別して、正しく使うことができる。
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解説 夏休みの課題 多読図書の選定	
	3rdQ	1週	Lesson 7	能力・可能、許可・禁止・義務を表す助動詞を正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジションができる。
		2週	Lesson 7	能力・可能、許可・禁止・義務を表す助動詞を正しく使うことができる。 タッチタイプ上1段ができる。
		3週	Lesson 8	助動詞+have+ppを正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジション+上1段ができる。
		4週	Lesson 8	would/used to doを正しく使うことができる。 タッチタイプ下1段ができる。
		5週	Lesson 9	受け身 を理解し、正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジション+下1段ができる。
		6週	Lesson 9	受け身 / 受け身を使った慣用表現を正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジション+上1段+下1段ができる。
		7週	後期中間試験	
		8週	Lesson 10	to不定詞の名詞，形容詞，副詞用法を区別し、正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジション+上1段+下1段を1分間80タッチ以上・ミスタッチ10未満ができる。
	4thQ	9週	Lesson 10	to不定詞の名詞，形容詞，副詞用法を区別し、正しく使うことができる。 タッチタイプホームポジション+上1段+下1段を1分間100タッチ以上・ミスタッチ10未満ができる
		10週	Lesson 10・11	to不定詞と動名詞の違いと動詞の目的語になる場合を理解し、正しく使うことができる。 Teams の「ファイル」や「クラスノートブック」を使ってファイルを提出することができる。
		11週	Lesson 11	動名詞／動名詞を使った慣用表現を正しく使うことができる。 MS-Wordの基本的な使い方ができる。
		12週	Lesson 11	動名詞／動名詞を使った慣用表現を正しく使うことができる。
		13週	Essay writing 1	150語以上を使って、エッセイ#1を完成し、Criterion e-ratorによるスコアリングとフィードバックを得る。
		14週	Essay writing 2	150語以上を使って、エッセイ#2と#3を完成し、Criterion e-ratorによるスコアリングとフィードバックを得る。
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解説 春休みの課題（多読・読み物・英単語練習）	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・提出物	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0